

HDI (人間開発指数)  
17位 / 188か国

順位	国名	値
1	ノルウェー	0.949
2	オーストラリア	0.939
2	スイス	0.939
4	ドイツ	0.926
5	デンマーク	0.925
5	シンガポール	0.925
7	オランダ	0.924
8	アイルランド	0.923
9	アイスランド	0.921
17	日本	0.903

「長寿で健康場生活」「知識」及び「人間らしい生活水準」という人間開発の3つの側面を測るもの。(平均寿命、1人あたりGDP、就学率 等)

GII (ジェンダー不平等指数)  
21位 / 159か国

順位	国名	値
1	スイス	0.040
2	デンマーク	0.041
3	オランダ	0.044
4	スウェーデン	0.048
5	アイスランド	0.051
6	ノルウェー	0.053
6	スロベニア	0.053
8	フィンランド	0.056
9	ドイツ	0.066
21	日本	0.116

国家の人間開発の達成が男女の不平等によってどの程度妨げられているかを明らかにするもの。(妊産婦死亡率、国会議員の女性割合、中等教育以上の教育を受けた人の割合(男女別)等)

## ■女性の政治への参画状況

(女性国会議長)

政治機関の長の地位に女性が就くこともまた、ジェンダー平等推進の一助となります。女性議長は各議院のロールモデルであり、代表でもあります。さらに、審議の基調を方向づけ、議会で議論すべき差し迫った問題を決定する役割も担います。

2017年1月1日現在、世界の国会議長職の19.1%に女性が就いており、前年より1%ポイント以上増加しました。2016年には、9名の女性が新たに議長に選出または任命さ

れました。シリア・アラブ共和国とベトナムで新たに選出された国会議長は、それぞれの国で初の女性議長です。2016年には7名の女性議長が、多くは2期目、一部は3期目に再選されました。女性議長の比率は、2015年と比べてほぼ3%ポイント増加し、現在のところ女性議員比率の増加のペースを上回っています。

(衆院選2017)

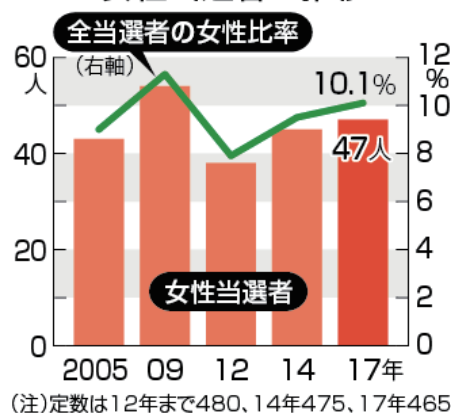
2017年(209人)の衆院選の女性候補者数は、2009年(229人)、2012年(225人)に次いで3番目に多い候補者数でした。政党別にみると、共産党が最多で58人、希望の党47人、自民党25人が続いています。前回の2014年衆院選は、全当選者に占める女性比率は9.5%、今回の2017年衆院選は10.1%でした。過去最多だった2009年衆院選でも、全当選者に占める女性比率は11.3%でした。

日本の国会議員の女性比率は先進国で最低水準と考えられます。各国議会で作る列国議会同盟(IPU)の調査によると、衆議院議員に占める女性の割合は、2018年3月現在10.1%であり、日本は193か国中158位で、前年の163位から順位を上げています。しかし、国会議員の女性比率の世界平均は23.4%です。

政治分野における女性の参画の拡大に向けて、社会のあらゆる分野において、2020年までに、指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも30%程度になるよう期待するという目標を踏まえ、政府として、衆議院議員及び参議院議員の各選挙における候補者に占める女性の割合について、平成32年までに30%を目指すこととしています。

国際的にみると、女性の考えを社会に平等に反映させるべきとの考えから、女性の議員数や候補者数を一定数割り当てるクォーター制度などを導入している国も多くありますが、日本では現在まで導入されておられません。

## 女性当選者の推移



## ◆参考データ / 資料引用

内閣府男女共同参画局 <http://www.gender.go.jp/>  
時事ドットコム <https://www.jiji.com/>